

独立行政法人 国立病院機構

南和歌山医療センター





交通機関

・JR紀勢本線

- 新大阪～紀伊田辺 オーシャンアロー 約2時間20分
- 天王寺～紀伊田辺 オーシャンアロー 約2時間
- 新宮～紀伊田辺 オーシャンアロー 約2時間

・明光バス(新湯崎・三段壁行き)

- 紀伊田辺～南和歌山医療センター 約13分

・自家用車

- 岸和田I.C～紀伊田辺I.C 阪和道 約1時間30分

南和歌山医療センター

・高速バス

- なんば～紀伊田辺 約2時間

・白浜空港

- 南和歌山医療センター～白浜空港 約10分
- 白浜空港～羽田空港 約1時間

研修目標

- ◎ 医療情報、技術の修練にとどまらず、患者の身体的、精神的苦痛に共感する感性を養い、患者及び家族の抱える社会的、心理的問題を**全人的な立場**で**前向きに対処**し、新しい医の倫理に立った診療を実践することを目的とする。

病院規模

◎ 入院定床 316床(一般病床)

内 救命救急センター 23床

緩和ケア病棟 14床

◎ 外来 500人

職員数

- 医療職(一) 43人 うち医長以上19人
 - 医療職(二) 42人
 - 医療職(三) 205人
 - 事務職 19人
 - 技能職 12人
- (合計 321人)
- 指導医が多い

研修スケジュール

<プログラム例> 募集人数 2名

一年次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	内科A	内科B	内科C				救急			地域医療	外科A	
二年次	4	5				6		~			3	
	外科B					自由	選択	枠				

自由選択枠では協力型の病院(京都医療センター、大阪南医療センター、宇多野病院、和歌山病院)での

研修も可能

かなり自由な研修可能

また必修以外であれば外科を除くことも可能で、内科・救急・地域医療の順次変更等も可能

※内科A・B・Cは内科・循環器科・呼吸器科から選択

※外科A、外科Bは胸部心臓血管外科・整形外科・脳神経外科、消化器・一般外科から選択

緩和ケア病棟



きれいな海が見える

全国で初めての災害救助活動における新しいシステム 防災ヘリコプター「医師等同乗救助活動」実施



- ヘリからのホイスト降下も可能
- 4年間で43件の出動

ドクターカー



- 搬送機能は無く、機動性と現場処置を優先。
- 6ヶ月間で42回の出動。
- 時間が許せば研修医同乗。
- 心肺停止から完全社会復帰例が2例。

スタッフ紹介と各科の特徴

和医大の皆さんEarly exposure おぼえてる？



やる気のあるひと
募集！

中井院長

専門：脳外科

脳外科の特徴



中村病棟部長

専門:脳外科

1. 病院長を含め常勤が6名
(脳神経外科専門医4名、血管内治療専門医1名、脳卒中専門医1名)
田辺医療圏の脳神経外科疾患を一手に引き受けている
2. 年間約280例の手術件数(血管内手術は約60件)
脳腫瘍約30例、脳動脈瘤約35例
バイパス術約5例、神経血管減荷術約5例
外傷約80例(慢性硬膜下血腫を含む)、脊椎疾患約10例
3. 救急救命センターが併設されているため、脳卒中や重症頭部外傷などの急性期疾患も多い
4. 脳血管内手術、頭蓋底外科手術、血行再建術、遊離筋皮弁術なども積極的に行っている
5. 一番の特徴はチームワークの良さである



加藤副院長

専門：肝臓内科

内科では

当科の大きな特徴として、3ヶ月の研修期間のうち半分は主に一般内科診療を、半分は救命救急医療を研修することになっています。

一般内科診療においては、入院患者診療を中心に研修していただきます。また、週一回の新患外来を研修していただきます。希望に応じて当科で行う検査（腹部エコーなど）も指導を行います。

入院患者診療では、特定の臓器に限らず幅広い範囲の疾患を対象に診療し、総合内科的な考えを身に着けることを第一目標としています。またインフォームドコンセント、問題解決志向システム、EBM、チーム医療など、診療の基本を徹底するよう指導しています。

総回診、症例検討会、他科との合同カンファレンスを行いチーム医療を実践し、抄読会、研修医によるミニレクチャーを定期的に行い、診療に対する知識を深めます。

救命救急医療においては、当科医師と救命救急科医師が指導医となり、救命診療の指導を行います。

<当科の紹介>

当科は一般内科、肝臓内科、神経内科を標榜しております。

また、肝臓外来、睡眠時無呼吸症候群外来、神経内科外来、禁煙外来、糖尿病外来などの専門外来診療を行っております。

また、当科は救命救急医療にも従事しております。

検査は腹部エコー、上部消化管内視鏡、嚥下造影などを施行しています。

当院は肝疾患診療連携拠点病院であり、当科において専門的な治療として、ウイルス性肝炎に対するインターフェロン療法、肝細胞癌に対するラジオ波、難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法などを施行しております。

胸部・心臓血管外科



木下統括診療
部長

専門:呼吸器外科

呼吸器外科:木下 貴裕
呼吸器外科認定施設
肺癌根治手術は58例



胸部外科一般の研修が行える。
美味しいお酒も呑める。
大きな魚も釣れる。

一緒に楽しんで研修しましょう。

乳腺外科:粉川 庸三
乳癌学会認定施設
乳癌手術症例は年間61例

心臓血管外科:小森 茂
開心術は年間24例
大血管手術は年間11例



秋山臨床研究部長

専門:呼吸器内科

HIV治療

呼吸器科では

1. 現在スタッフは2名
2. 入院患者数37名(2/15現在)
3. 総外来患者数280名(2/1~2/14平日)
4. 対象疾患:気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患・
呼吸器感染症・慢性呼吸不全・
肺癌他
5. 特殊検査:気管支内視鏡(平均 5~10 例/月)

循環器科のご紹介



橋爪循環器科医長

専門:循環器内科



●循環器科の特徴

1. 循環器疾患全般をほぼ網羅できる診療体制
2. 内科診療の基本を重視した診療
3. 24時間救急体制を3人で13年間維持継続
4. 救命救急科との連携による
充実した循環器救急の実践
5. 地方病院として積極的な国際学会での発表

●国立病院機構(NHO)を利用した研修

1. 循環器診療を希望する若手医師の
国立循環器病研究センターでの研修
2. 全国のNHOのどこへでも移籍可能



辻外来部長

専門:放射線治療

放射線科では

強度変調放射線治療(Intensity modulated radiotherapy, IMRT)が和歌山県で初めてこの2月から稼動しています。

3T MRIがこの秋から導入される予定です。診断、IVRも豊富な症例があります。

整形外科では



北野整形外科医長

当院は和歌山県立医科大学附属病院以外の**県内唯一の第3次救急の受け入れ病院**となっています。

そのためドクターヘリ、ドクターカーを駆使し骨盤骨折、多発外傷などの**重度外傷の症例が多く**集まります。

また**手外科教育研修基幹病院**であり指の再接合術、神経、腱損傷、皮膚欠損に対する皮弁術などの手の外科手術も行っています。

手術件数は年間約600例施行しており、外傷を中心としたhot surgeryをメインに関節鏡視下手術、人工関節も定期的に行っています。

研修期間としては症例のばらつきもあるので最低2ヶ月が良いと考えています。

現在も研修に来ていただいている先生方には**積極的に手術に参加**して頂いているような状況であり、急性期外傷の初期治療から手術、リハビリテーションまで興味のある先生は是非当科に研修に来てください。



岡外科医長

専門: 消化器外科
消化器内視鏡
内視鏡外科



中谷外科医長
兼地域連携室長

専門: 消化器外科
消化器内視鏡
内視鏡外科

外科では

- ・がん拠点病院として
胃癌手術(56例)、大腸癌手術(71例)をはじめ、種々の消化器外科手術(385例)を行っています。
- ・紀南地域で唯一、ハイビジョンの腹腔鏡システムを2台導入、昨年の腹腔鏡下胃・大腸手術は68例です。
- ・内視鏡治療も消化器科と共同で行っています。



川崎救命救急科医長

専門:救急外科

救命救急科では

初動が適切でないと困る状態、外傷、
重症感染症、各種ショック、心不全、
呼吸不全をすべて当救命救急セン
ターで取り扱う

南和歌山医療センターで
研修して

「最初に診たのが自分で良かった？」
から

「最初に診たのが自分で良かった！」

? を ! にしよう。

当院の研修科以外の先生方



南皮膚科医長

皮膚科

アトピー性皮膚炎など外用療法を主とする疾患の患者さんが多く通院されています。

他科研修中に、例えば水曜日の午前中のみ1ヶ月間だけ皮膚科外来を見学するというのも可能です。



古田検査科長

専門:病理学

研究検査科

当院の検査科は患者や診療科の多様性に対応し、多岐にわたる医療分析機器を備えています。特に患者への迅速な医療提供の一翼を担うため、**検査結果返却を迅速に行う**よう努めています。

常勤の病理の先生がいる！

仲のいい医局のみんなと、
一緒に働きませんか？

